

## 単元名：とけいであそぼう

第 5 学年男子 1 名 第 4 学年女子 1 名 第 2 学年女子 1 名 計 3 名

## 単元について

指導者 望月 由佳  
介助員 川口 俊秀

## ○ 児童観

本学級は、第 5 学年男子（ダウン症）1 名（A）、第 4 学年女子 1 名（B）第 2 学年女子 1 名の計 3 名が在籍している。

知的レベルや情緒、運動に関する実態は大きく異なり、個に応じた支援が必要である。人との関わりにおいては、学級の 3 人で遊ぶことを好み、仲が良い姿が見受けられる。しかし、自分の思いが伝わらない時には感情的になり、自己中心的な行動をすることもある。

A 児・B 児・C 児ともに、自分の気持ちを特別支援学級の友達や、特別支援学級の教師に伝えることはできる。交流学級など大きな集団においては、A 児と C 児は、積極的にコミュニケーションを取ることができるが、B 児は取りにくい。また、これまでの生活の中で、成功体験が乏しく自身がなかったり、恥ずかしがったり、自分の気持ちのコントロールが難しい児童もいる。話を聞いて理解することは 3 人とも苦手だが、具体物を使ったり、視覚的手がかりがあったりすると比較的理解できる。

時計の学習に関わる本学級の実態は、次の通りである。

	内容	A 児（5 年）	B 児（4 年）	C 児（2 年）
学習面	数唱（1～100）	○	○	○
	何時と読むことができる。	△	△	○
	何時半と読むことができる。			×
	何時何分とよむことが出来る。			×
	決められた時刻を模型で表すことができる。	×	×	×
	1 時間＝60 分がわかる。			×
	模型の時計（数直線）を利用して 1 時間以上の時間を求めることができる。			△
生活面	朝・昼・夜がわかる。	△	△	○
	チャイムを聞いて行動することができる。	△	○	○
	時計を見て行動することができる。	×	×	×

## A 児（5 年）

- ・算数は好きである。
- ・短針の数字を指で示すと時刻が読めるが、支援なしに時計を読むことができない。「何時」と聞かれると答えられない時もある。
- ・朝昼夜の理解はできているが、時刻を意識して生活できていない。
- ・手先が不器用で模型を動かすなど細かい操作が難しい。
- ・集中力が持続しにくい。
- ・自分にとって難しいと感じた時は固まる。

## B 児（4 年）

- ・算数は好きである。
- ・「何時」が分かる時もあるが、分からない時もある。
- ・時刻を意識して生活することが、難しい。
- ・周りが気になり、集中力が切れる事がある。声かけをすると取り組める。

## C 児：（2 年）

- ・算数は好きである。
- ・「何時・何時半」が読める時がある。
- ・具体的な生活に時刻を生かすことはできていない。

- ・自分がやりたくないと思う課題に対しては、集中して課題に取り組むことができない。

### ○ 単元観

本単元は、実際の時計を使いながら時刻について学習を行う。学校生活や日常生活の時刻に当てはめ、時刻を読むことを中心に行う。時刻に関心を持ち、交流学級に行く時刻など、「時間がないから急ごう。」など主体的に行動を促し、時刻と行動を結び付け生活できることをねらいとした。また、バスに乗る時に乗り遅れたり、見たいテレビの時刻がわからないとテレビを見損ねたりなど時刻を意識せずに生活するとどんな困難があるかを身近な生活において、意識させたい。

時計には、アナログとデジタルがある。時刻表などは、デジタルの時刻で表示されているが、教室にある時計は、アナログ時計のため、アナログ時計の読み方を理解させたい。

### ○ 指導観

知的障害特別支援学級の児童は、体験したことや学習したことが身に着きにくい。その上、授業で学習しても、学習した場面と生活の場面とが結び付きにくいことから、一般化することが難しい。そこで、一日の日程表や、テレビ表、バスの時刻表など身近にあるものを教材として取り入れることで、学習した内容と日常生活が結び付けられるようにしていく。又、課題設定の段階で、学習したことを日常生活にもつなげられるように、肢体不自由特別支援学級2組の友達に「Mちゃんオリジナルの1日の日程表」を作り、分かりやすく伝えることを学習のゴールとして設定する。時計を知るよさや、身の回りの時刻や時間があることを体験させたい。

## 単元の目標

### 本単元で付けたい力

#### ○A児（第5学年）

- ・自分の日常生活と時刻を関連させてとらえようとし、時刻に関心をもつことができる。
- ・時計の読み方を理解することができる。
- ・「何時」と読むことができ、時刻を見て、「時計プリント」に書くことができる。
- ・時計の数字の目盛をもとに、時計の正確な読み方が分かる。

#### ○B児（第4学年）

- ・自分の日常生活と時刻を関連させてとらえようとし、時刻に関心をもつことができる。
- ・時計の読み方を理解することができる。
- ・時刻を見て、「何時」を模型時計を使い、合わせることができる。
- ・時計の数字の目盛をもとに、時計の正確な読み方が分かる。

#### ○C児（第2学年）

- ・自分の日常生活と時刻を関連させてとらえようとし、日常生活で使おうとする。
- ・時計の長針と短針の関係に着目して、時計の読み方を理解することができる。
- ・時計を操作しながら、時刻を読んだり、時計で表したりすることができる。
- ・時計の数字の目もりをもとに、時計の正確な読み方が分かる。

## 単元の評価規準

	関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
A児	自分の日常生活と時刻を関連させてとらえようとし、時刻に関心をもつことができる。	時計の長針と短針の関係に着目して、時計の読み方を考えることができる。	「何時」と読んだり、時刻を見て、書き表したりすることができる。	時計の数字の目盛をもとに、時計の正確な読み方が分かる。
B児	自分の日常生活と時刻を関連させてとらえようとし、時刻に関心をもつことができる。	時計の長針と短針の関係に着目して、時計の読み方を考えることができる。	時刻を見て、「何時」を模型時計を使い、合わせることができる。	時計の数字の目盛をもとに、時計の正確な読み方が分かる。
C児	自分の日常生活と時刻を関連させてとらえようとし、日常生活で使おうとする。	時計の長針と短針の関係に着目して、時計の読み方を考えることができる。	時計を操作しながら、時刻を読んだり、時計模型で表したりすることができる。	時計の数字の目もりをもとに、時計の正確な読み方が分かる。

単元で育成したい資質・能力

	A		B	
【主体性】	A児	・時計の仕組み、長針や短針、12までの数字の意味について知り、およその時刻を読み、日常生活で、時刻と行動を対応している。	・時計の仕組み、長針や短針、12までの数字の意味について知り、およその時刻を読もうとしている。	
	B児	・時計の仕組み、長針や短針、12までの数字の意味について知り、およその時刻を読み、日常生活で、時刻と行動を対応している。	・時計の仕組み、長針や短針、12までの数字の意味について知り、およその時刻を読もうとしている。	
	C児	・短針と長針の関係をとらえて、それぞれの針の位置で時刻で決まること事を知り、時刻を読みとり、日常生活で時刻と行動を対応している。	・短針と長針の関係をとらえて、それぞれの針の位置で時刻で決まること事を知り、時刻を読みとろうとしている。	
【思考力】	A児	・時計の長針と短針の關係に着目して、時刻を正確に読んだり時計に表したりすることができる。	・時計の長針と短針の關係に着目して、時刻を正確に読むことができる。	
	B児	・時計の長針と短針の關係に着目して、時刻を正確に読んだり時計に表したりすることができる。	・時計の長針と短針の關係に着目して、時刻を正確に読むことができる。	
	C児	・時計を見て、時刻を正確に読んだり時計に表したりすることができる。	・時計を操作しながら、時刻を読んだり、時計で表したりすることができる。	
【自己理解】	A児	・時計の数字の目もりをもとに、時計の正確な読み方が分かり、日常生活に積極的に活用しようとしている。	・時計の数字の目もりをもとに、時計の正確な読み方が分かり、日常生活に活用しようとしている。	
	B児	・時計の数字の目もりをもとに、時計の正確な読み方が分かり、日常生活に積極的に活用しようとしている。	・時計の数字の目もりをもとに、時計の正確な読み方が分かり、日常生活に活用しようとしている。	
	C児	・時計の数字の目もりをもとに、時計の正確な読み方が分かり、日常生活に積極的に活用しようとしている。	・時計の数字の目もりをもとに、時計の正確な読み方が分かり、日常生活に活用しようとしている。	

# 指導と評価の計画

(全 10 時間)

次	時	学習内容	評価					
			関	考	技	知	評価規準	評価方法
一	1	<b>課題の設定 (1)</b> ○学習の見通しをもつ。 ・ゴールを知る (肢体不自由特別支援学級 2 組の M ちゃんに「M ちゃんオリジナルの日程表」を作成し、M ちゃんにプレゼントするというゴールを知り、時計に興味・関心をもつ。)。	○				A 児：自分の日常生活と時刻を関連させてとらえようとし、時刻に関心をもとうとしている。 B 児：自分の日常生活と時刻を関連させてとらえようとし、時刻に関心をもとうとしている。 C 児：自分の日常生活と時刻を関連させてとらえようとし、日常生活で使おうとする。	行動観察 発言
	2	<b>情報の収集 (5)</b> ○生活場面に興味をもち、時計の仕組みと結び付けて位置の確認をする。 ・テレビの番組表を見て実際にテレビを視聴してみる。		○			A 児：B 児：C 児： 時計の長針と短針の関係に着目して、時計の読み方を考えている。	行動観察 発言 ワークシート
	3	○生活場面に興味をもち、時計の仕組みと結び付けて考える。 ・何時の時刻を、時計から読んだり、模型時計で見たりして答える。		○			A 児：B 児：C 児： 時計の長針と短針の関係に着目して、時計の読み方を考えている。	行動観察 発言 ワークシート
	4	○生活場面に興味をもち、時計の仕組みと結び付けて考える。 ・何時の時刻を、生活の時間に合わせて時計を読む。(A 児・B 児) ・何時、何時半の時刻を、時計から読んだり、模型時計で表したりする。(C 児)		○			A 児：B 児： 時計の長針と短針の関係に着目して、時計の読み方を考え、「何時」の時刻とを読んでいる。 C 児：時計の長針と短針の関係に着目して、時計の読み方を考え、「何時」「何時半」の時刻を読んだり表したりしている。	行動観察 発言 ワークシート
	5	○生活場面に興味をもち、時計の仕組みと結び付けて考える。 ・「何時」の時刻を、生活の時間に合わせて時計を読む。(A 児・B 児) ・1 分読みで時刻を読んだり、模型時計で表したりする。(C 児)		○			A 児：「何時」と読んだり、時刻を書き表したりしている。 B 児：時刻を見て、「何時」を模型時計を使い、合わせている。 C 児：時計を操作しながら、時刻を読んだり、時計で表したりしている。	行動観察 発言

	6	<p>○生活場面に関心を持ち、時計の仕組みと結び付けて考える。</p> <p>・「何時」の時刻を、生活の時間に合わせて読む。(A児・B児)</p> <p>・5分読みで時刻を読んだり、模型時計で表したりする。(C児)</p>			○	<p>A児：「何時」と読んだり、時刻を書き表したりしている。</p> <p>B児：時刻を見て、「何時」を模型時計を使い、合わせている。</p> <p>C児：時計を操作しながら、時刻を読んだり、時計で表したりしている。</p>	行動観察 発言
三	7	<p>○生活場面に関心を持ち、時計の仕組みと結び付けて考える。</p> <p>・時計クイズをする。</p> <p>・「何時」を正しく読む。</p> <p>・アナログ時計を見て、表す時刻を選ぶ。(A児・B児)</p> <p>・5分単位の数字の目盛りに着目しながら、時計1分単位で読む。(C児)</p> <p><b>【本時】</b></p>			○	<p>A児：「何時」と読んだり、時刻を書き表したりしている。</p> <p>B児：時刻を見て、「何時」を模型時計を使い、合わせている。</p> <p>C児：時計を操作しながら、時刻を読んだり、時計で表したりしようとしている。</p>	行動観察 発言 ワークシート
四	8	<p><b>まとめ・創造・表現（1）</b></p> <p>○オリジナル日程表を作る。</p> <p>・絵と時計のシールを使い、「Mちゃんオリジナルの日程表」を作る。</p>			○	<p>A児： B児： C児： 時計の数字の目盛をもとに、時刻の正確に読んでいる。</p>	行動観察 発言 ふりかえりシート
五	9	<p>○Mちゃんに「オリジナル日程表」をプレゼントする。</p> <p>・Mちゃんに作成した日程表を紹介する。</p>			○	<p>A児： B児： C児： 時計の数字の目盛をもとに、時刻を正確に読んでいる。</p>	行動観察 発言 ふりかえりシート
六	10	<p><b>振り返り（1）</b></p> <p><b>学びのモニタリング</b></p> <p>○自らの学びや、学び方を振り返る。</p> <p>・単元の初めに立てた「ゴールの見通し」の視点で自ら学びを振り返る。</p>	○			<p>A児： B児： C児： 時計の正確な読み方が分かり、日常生活に活用しようとしている。</p>	行動観察 発言 ふりかえりシート

## 本時の学習

### （1）本時の目標

○時計の長針と短針を見て、時刻を読むことができる。

5年A児 ＜特別支援学習指導要領＞ 3段階（4）	<p>・「何時」を正しく読むことができる。</p> <p>・ルールを守り、クイズを作り、正解することができる。</p>
4年B児 ＜特別支援学習指導要領＞ 3段階（4）	<p>・「何時」を正しく読むことができる。</p> <p>・ルールを守り、クイズを作り、正解することができる。</p>

2年C児 ＜学習指導要領＞ 1年生B(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5分単位の数字の目盛りに着しながら、時計1分単位で読むことができる。</li> <li>・ルールを守り、クイズを作り、正解することができる。</li> <li>・時計の長針と短針の関係に着目して、時計の読み方を考えることができる。</li> </ul>
-----------------------------	--

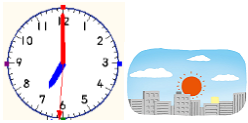
(2) 本時の評価規準

5年A児	「何時」と読むことができ、時刻を書き表したりしている。	数量や図形 についての 技能
4年B児	・時刻を見て、「何時」を模型時計を使い、合わせようとしている。	
2年C児	・時計を操作しながら、時刻を読んだり、時計で表したりしようとしている。	

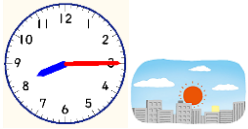
(3) 本時の学習展開 (7時間目/全10時間)

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て・課題(■)			評価規準 ◎本時でつけた い力
	個別の学習活動			
	A児の予想される 反応	B児の予想され る反応	C児の予想される 反応	
1 あいさつをする。	■姿勢に注意して、大きな声であいさつをすることができる。	■身なりを整え、姿勢を正しいあいさつをすることができる。	■姿勢を正しいあいさつをすることができる。	
本時のゴールの見通し A児: 「何時」を正しく読むことができる。 ・アナログ時計を見て、表す時刻を選ぶことができる。 B児: 「何時」を正しく読むことができる。 ・アナログ時計を見て、表す時刻を選ぶことができる。 C児: ・5分単位の目盛りに着目しながら、時計1分単位でよむことができる。 ・アナログ時計を見て、表す時刻を選ぶことができる。				
2 活動の確認をする。	◆活動の順序を黒板に提示し、見通しをもたせる。			
3 前時までの学習を振り返る。	・「何時」は短針の位置、「何分」は長針の位置を読むことを思い出させる。(ICTを活用)			
4 今日の学習のながれをつかむ。				
5 めあてを知る。	㊦とけいのクイズをして、とけいのよみかたをおぼえよう。			
6 時計クイズを作る。	・印刷されている時計を選び、ボードに貼らせる。 ペアでA児は、B児に問題を作る。B児もA児に問題を作る。	・時計ボードを使い、C児とK先生でクイズを出し合う。C児は、K先生に問題を作る。K先生もC児に問題を作る。		

この時刻は、何時でしょう？  
(A児)からの問題  
(B児用)



(C児用)



◆「ながいはり」を貼っているシートを用意する。「みじかい針」「何時」を表す。  
・A児は、B児が出した問題を解く。

◆「みじかいはり」「ながいはり」を埋めるシートを用意する。  
・「何時・何分」を表させる。  
・C児は、K先生が出した問題を解く。

問題はこれです。  
ながいはり→12です。  
みじかいはり→○です。  
だから○時です。(終わり次第交代をする。)

問題はこれです。  
ながいはり→△です。  
みじかいはり→○です。  
だから△時○分です。  
(終わり次第交代する。)

7 クイズをする。(問題を出し合う。)

8 出し合ったものを発表しよう。

友達が出したもんだいは、これです。  
長いはり→○です。  
短いはり→△です。  
だから○時△分です。

9 まとめをする。

「なんじ」は「みじかいはり」  
「なんふん」は「ながいはり」  
をよむと時計は読むことができる。

1 2 じ 3 0 ぶん

みじかいはり

ながいはり



10 練習問題をする。



11 本時の学習を振り返る。

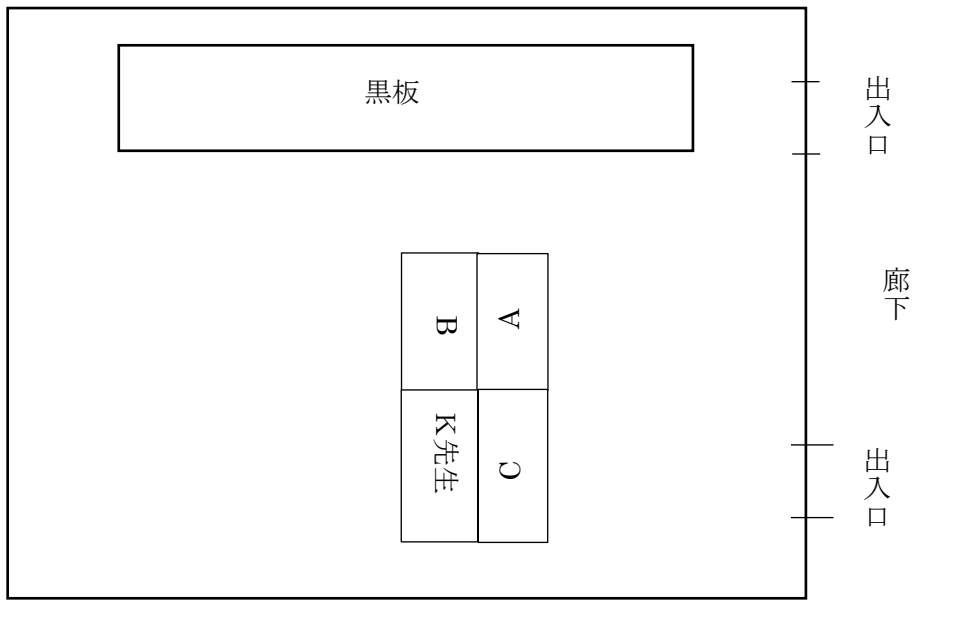
12 あいさつをする。

★めざす児童の姿

- A：友達が出したクイズを何時と正解できて嬉しい。
- B：友達が出したクイズを何時と正解できて嬉しい。
- C：友達が出したクイズを何時・何分と解けてこれから生活にも生かしたい。

	<p>◎ 声掛けにより、姿勢が崩れていることに気付かせ、姿勢を意識させる。</p> <p>■ 姿勢を整え、大きな声であいさつをする。</p>	<p>◎ 声掛けにより、姿勢や身なりが崩れていることに気付かせ、姿勢や身なりを意識させる。</p> <p>■ 身なりを正し、姿勢良くあいさつをする。</p>	<p>◎ 声掛けにより、姿勢が崩れていることに気付かせ、姿勢を意識させる。</p> <p>■ 姿勢を正してあいさつをさせる。</p>	<p>A 児:時刻を「何時」を正しくこたえることができる。</p> <p>B 児:時刻を「何時」を正しくこたえることができる。</p>
--	--	--	--	---

場・教室の配置

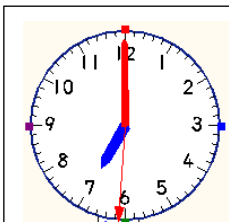


(4) 板書計画

とけいであそぼう

めあて  
とけいのクイズをしてとけいのよみかたをおぼえよう。

おもいだそう



ながいはりは、12  
みじかいはりは、7  
だから7じ

③ 1 2 じ 3 0 ぶん

みじかいはり

ながいはり



- がくしゅうのながれ
- 1 あいさつ
  - 2 きょうのがくしゅう
  - 3 おもいだそう
  - 4 もんだい
  - 5 めあて
  - 6 クイズをつくる
  - 7 クイズをする
  - 8 はっぴょう
  - 9 まとめ
  - 10 れんしゅうもんだい
  - 11 ふりかえり
  - 12 あいさつ